

熱分解GC/MS(Py-GC/MS)は、プラスチック、ゴム、木材、繊維、塗料、インク、接着剤、オイル(油)など、液体から固体まで様々な形態の材料を分析可能です。

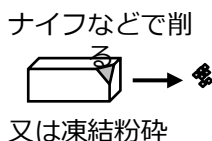
試料を直接導入し、熱分解してGC/MSで分離分析するので、架橋した高分子材料や熱硬化性樹脂などの溶媒に不溶な材料でも分析可能です。

御依頼案件事例

- 材質特定分析 : ポリマーの構造推定 等
- 揮発成分の同定 : 特定の温度で発生するアウトガス成分の定性、高分子中の配合添加剤、微量有機不純物、残留溶剤の定性 等

分析イメージ

固体試料の場合



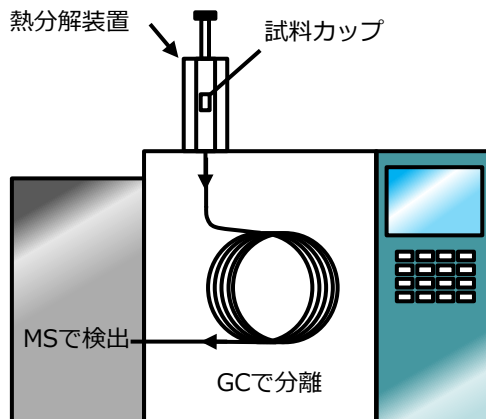
採取した試料を
試料カップに入れる



液体試料の場合



熱分解装置
試料カップ



分析条件

- 試料量 : 0.1mg～数m程度
- 温度範囲 : 40～800℃
- 加熱雰囲気 : He